



2019年度 第28回

JSC賞

応募作品募集中!!

J S C a w a r d

応募締切 2019.10.20 SUN 当日消印有効

第1回:小林 茂 / 『阿賀に生きる』

阿賀に生きる制作委員会=新潟、阿賀野川流域の人々の生活を綴ったドキュメンタリー映画。

第21回:津村 和比古 / 『オロ』

オロ制作委員会=中国の迫害を逃れチベットから亡命した少年オロを追ったドキュメンタリー映画。

第22回:寺田 俊樹 / 『標的の村』

琉球朝日放送=ヤンバルの地で強行される米軍のヘリポート建設。反対する住民たちの行き場の無い心情を描いたドキュメンタリー映画。

第23回:清水 良雄 / 『魂のリアリズム』

画家 野田 弘志

パル企画=リアリズム絵画の第一人者野田氏の制作過程に密着。画業への情熱を描いた映画。

第24回:松根 広隆 / 『風の波紋』

カサマフィルム=越後妻有の山里で人々の厳しくも豊かな生活を5年間取材したドキュメンタリー映画。

第25回:樋口 耕平 / 『三人のヤマトナデシコ
~ただ勝利のためでなく~』

関西テレビ=個性あふれる女性アスリートの挑戦を瑞々しく描いた4K HDRのドキュメンタリー番組。

第26回:今津秀邦 / 『生きとし生けるもの』

「生きとし生けるもの」上映委員会=北海道の様々な生き物を労を惜しまずに撮影し、被写体への愛情と作品への情熱が伝わってくるドキュメンタリー映画。

第27回:上泉美雄 / 『カキと森と長靴と』

NHK ETV特集=深い傷を負った気仙沼のカキ養殖だが豊かさを保ってきた森には復興への力が残っていた。詩的で美しい映像が希望を感じさせてくれる。

JSC賞とは？

共同組合 日本映画撮影監督協会により1992年に創設された賞です。今日のように映像製作の多様化が進む中、劇場用劇映画以外の分野で、撮影者の卓越した感性と技術により作品の完成度を高めたその成果に対し、撮影者を顕彰する賞です。

応募条件

- 当該年度（2018年10月1日より2019年9月30日）の間に完成または放映・上映された作品であること。
- 応募（候補者）の資格は日本を拠点としている撮影者で、協会員・非協会員は問いません。
- 推薦は自薦・他薦を問いません。但し推薦者は当協会員と維持会員に限り一人一作品とします。

該当推薦者がいない場合は当協会へ遠慮なくご相談ください。そのほか詳細は当協会、もしくは www.jsc.or.jp にてご確認下さい。またこちらより推薦書のダウンロードも出来ます。推薦書のメールでの送付はPDFにて、下記の協会アドレスへお願いします。



協同組合 日本映画撮影監督協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-25-14 第二関根ビル5F

TEL. 03-3356-7896 / FAX. 03-3356-7897 info@jsc.or.jp